

# 大賞

第25回  
ふるさとイベント大賞  
内閣総理大臣賞

## ジャパンバード フェスティバル2019

千葉県の北西部に位置する我孫子市。その南側に接する手賀沼は、都心に最も近い天然湖沼であり、市民の憩いの場となっています。緑と水が織り成すこの地域にはいろいろな生きものが生息しており、特に冬になると多くの渡り鳥が飛来するため、バードウォッチャーでにぎわいます。また、市内には国内唯一の鳥を専門とした「鳥の博物館」や、秋篠宮文仁親王が総裁を務め、全国でも名高い「山階鳥類研究所」といった機関も所在しています。

「ジャパンバードフェスティバル（JBF）」は産官民が協同で実施するイベントとして2001年にスタートしました。今では11月の第一土曜・日曜日に開催され、2日間で延べ約4万人が来場する国内でも最大級の鳥の祭典となっています。

当日は、野鳥団体による活動報告ブースのほか、野鳥観察・撮影に欠かせない光学機器の最新モデルを体験できるブース、鳥をモデルにしたグッズの販売など魅力的な出展が目白押しです。首都圏はもちろん北海道や小笠原諸島といった国内遠方からも出展があります。

また、2015年からは海外の団体も出展しており、2019年は台湾、モンゴル、フィリピン、グアテマラ、ミャンマー、タイ、コスタリカの野鳥団体が参加し、日本では見られない野鳥やその国の風土、文化について交流できる場となりました。

さらに、2010年に始まった「全日本鳥フォトコンテスト」では、全国各地から1000点もの魅力ある鳥の写真が寄せられ、その中からグランプリとして文部科学大臣賞と環境大臣賞が授与されます。

このほか、バードウォッチングやバードペインティング、スタンプラリー、鳥型のたこ揚げといった参加型のブースもあり、特設ステージはライブやトーク、じゃんけん大会、クイズ大会で盛り上がるなど、あらゆる方が楽しめるイベントとなっています。

### 主催者メッセージ

JBFには、野鳥に関する活動をしている団体のブース、野鳥観察に欠かせない光学機器の展示、鳥グッズのブースなどが数多く並びます。また、鳥の専門家による講演や全国から集まった野鳥写真のコンテストなど、鳥が好きな方もそうでない方も楽しめる、魅力が詰まった祭典です。

ジャパンバードフェスティバル  
実行委員会 実行委員長  
(公財) 山階鳥類研究所長

奥野 卓司さん



### 開催DATA

自治体名	千葉県我孫子市
自治体人口	130,458人 <small>※R2.12末現在の住民基本台帳人口</small>
主催団体	ジャパンバードフェスティバル実行委員会
開催回数	19回
開催日	令和元年11月2日（土）、3日（日）
開催場所	手賀沼親水広場、我孫子市生涯学習センター、鳥の博物館、山階鳥類研究所 等
観客数	約40,000人





千葉県  
我孫子市



## 評価のポイント

- 鳥をテーマにしたイベントでは来場者数、出展数ともに国内で最大級。
- 鳥をテーマにした国際的なつながりがあり、大人のみならず子供にも興味を湧かせることができるなど、広がりのあるイベントになっている。
- 鳥や自然環境についての調査研究・保全・啓発活動を行っている団体・学生・企業とも連携しており、地域の交流が生まれているほか、環境保全意識の向上に寄与している。
- どこで始めてもおかしくない、ある意味では普遍的なテーマであるだけに、それを企画し、続けた人たちの努力は大変なものだと想像できる。

## 次回 開催日程

- 開催日：令和3年11月6日（土）、7日（日）
- 開催場所：手賀沼親水広場、我孫子市生涯学習センター、鳥の博物館、山階鳥類研究所等
- 問い合わせ先
  - ・団体名 ジャパンバードフェスティバル実行委員会（事務局）
  - ・住所 〒270-1146 千葉県我孫子市高野山新田193 水の館 我孫子市環境経済部 手賀沼課内
  - ・電話番号 04-7185-1484 ・FAX 04-7185-5869 ・URL <http://www.birdfesta.net/>